

# 成城教育

第203号

2024年10月30日

特集 成城学園の演劇教育



成城学園教育研究所

「表紙」のことば

幼稚園 大概 結

七夕の頃、幼稚園のホールには各クラス全員の笹飾りをつけ、天井まで伸びる笹が六本、飾られます。今回の表紙の作品は、年中組による「七夕立体製作・貝殻つなぎ」です。青を基調とした作品を作った作者にインタビューしてみました。「これは、笹飾りで、貝殻繋ぎっていうんだよ!」「ハサミで切って、作ったんだよ!」ととても得意げな様子で教えてくれました。「難しかったのは貝殻同士をくっつけるところ」そして、気に入っている所は?と聞くと、「一番下の貝!形とか黄色の所が面白いから!」と笑顔。七夕の願い事は、「(スターウォーズの)ジェダイになれますように。って書いたんだよ」とこっそり教えてくれました。淡いオレンジの作品を作った作者にもインタビューしてみると、「マーブリングをして作ったの。紙を色につけるの。色の中にポチャンって入れたら出来上がりだよ」と作った時の事を話してくれました。難しかったのは、「一番上の貝を切る時。」「真ん中の貝が気に入ってるんだ!」と嬉しそうに話してくれました。願い事は「お花を三人(両親と自分)で見られますように」にしたそうです。子ども達の願いが、叶いますように。素敵な笹飾りが出来上がりました。

# 成城教育

第 203 号

©成城学園教育研究所

◆表紙：幼稚園 年中すみれ組 横山莉乙・年中たんぽぽ組 酒井瑛麻

「表紙」のことば

大槻 結

口絵グラビア 第28回成城・学校劇の会／学園の劇教育の歴史

## ■特集 成城学園の演劇教育

カット 手嶋直輔

巻頭言 特集「成城学園の演劇教育」に寄せて

演劇史の中の成城学校劇

幼稚園の演劇教育

成城学園初等学校の劇教育

劇における歌の作曲について

照明の役割

IF（もし）斎田喬先生がいなかったら

―斎田喬先生と初等学校の劇教育のいくつかのIFを乗り越えて―

『芝居を観る』～課外教室を通して伝えたいこと～

夢の場所へ

演劇って面白い

演劇のもつ力

夢を観る

山下純照 5

石川真悠子 21

保坂弘之 28

西谷鐘治 39

酒井和也 46

木村 隆 49

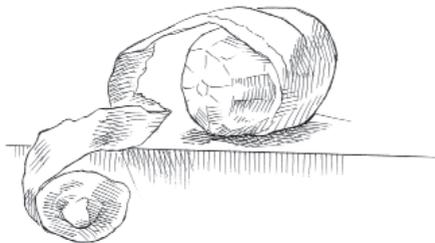
安田靖子 56

島崎みちほ 61

坂上梨々愛 65

勝田杏奈 67

小泉優乃 69



「演劇は「Liveである」と実感した体験……………鈴木沙耶花  
 演劇人生と夢……………倉持花菜

中学校演劇部OBORG座談会……………山本留実（司会進行）  
 77

鳴原桂・三谷麻里子・矢部亮・齊藤舞夕（卒業生）

《大学研究室から》

東京世田谷から応用言語学研究に基づく英語教育を発信……………細田雅也  
 94

教室の風景

英語教育のその先へ……………本間理沙  
 100

連載 成城のグリーンインフラ（第十二回）

成城池の外来生物、外来生物とグリーンインフラ……………矢部 徹  
 105

教育書紹介

浦部法穂 著 『憲法学教室「第3版」』（日本評論社）……………西土彰一郎  
 119

都築卓司 著 『新装版 マックスウエルの悪魔 確率から物理学へ（フルーバックス）』（講談社）……………渡邊隼史  
 119

大谷禎之介 著 『図解 社会経済学 資本主義とはどのような社会システムか』（桜井書店）……………小間貴之  
 120

中嶋哲彦・広田照幸 編著 『教員の長時間勤務問題をどうするか？—研究者からの提案』（世織書房）……………岩田一正  
 121

二〇二二・二〇二三年度 教育研究所研究助成報告書要旨

成城学園の学びの研究 新しい学校間交流による気づきの場づくり

青山征彦

「割合」指導の改善に関する考察③ 割合の概念形成に関わる要因

菊地良幸

幼児造形と児童造形の実践研究 理論と実践で見えたもの

橋本正裕

教科間連携による子どもたちの学びのつながり

長田柊香

社会正義を志向するライフ・キャリア教育の実践と探索的検討

勝又あずさ

児童が英語に自信を持てるようになるプログラム型・

プロジェクト型学習融合カリキュラム作成と検証

梶山健太郎

教育研究所報

桐分校訪問、働き方改革に関連する中教審答申

岩田一正

教育研究所への階段

富田清孝

編集後記

147

178

144

140

135

131

129

127

125

123

122